

## 質問回答

2017年5月11日

「インド国ヴァラナシ国際協力・研修センター建設計画協力準備調査」

(公示日:2017年4月26日 / 公示番 170239号:)業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	5 ページの「(2)評価対象業務従事者の経験、能力」、7 ページの「(1)評価対象とする業務従事者の担当分野」、および 21 ページの「(2)業務従事者の構成」	先に示される各ページの業務主任者の名称が以下の通り、それぞれ異なっており、正式な名称をご教示願います。 4 ページ:業務主任者(総括 / 施設計画) 7 ページ:総括 / 施設計画 21 ページ:業務主任 / 施設計画	21 ページ:総括 / 施設計画 となります。 4 ページの表記は定型となっており、()の中が正式名称となります。
2	第2 6.(24)準備調査報告書(案)の説明・協議 7 成果品	6(24)には、準備調査報告書(案)(入札図書(案)を含む)とありますが、準備調査報告書と入札図書(案)は別の成果品と考えてよろしいでしょうか。	準備調査報告書と入札図書(案)は別の成果品となります。
3	第2 業務の目的・内容に関する事項 5.(3) 第3 業務実施上の条件	第2.5.(3)では、第二次現地調査にて入札図書(案)作成にあたっての設計概要の確認及び許認可取得状況を確認するとあり、第3では9月の第2次現地調査後に積算等の国内解析を行うとあります。詳細設計レベルの設計業務の期間をどのように考えればよろしいでしょうか。	全体工程の制約から、第二次現地調査結果を待たずとも部分的に詳細設計レベルの設計業務に着手するような作業工程の工夫と、特に第一次現地調査で確定すべき設計方針事項について、プロポーザルでの提案をお願いいたします。
4	第3 業務実施上の条件	9月に第2次現地調査、その後に積算等の国内解析(積算審査期間含む)を行うとされています。設計期間が非常に短くタイトですが、積算審査の期間は通常より短くしていただけるということでしょうか。	閣議請議日程に合わせた事業費の積算は、通常の積算作業よりも簡易な概算積算で確定する予定です。ただし、最終的には(報告書提出に際しては)、設計・積算マニュアルに基づいた積算の審査(一般的に約2か月)を行う想定で、プロポーザルを作成して下さい。調査期間の制約に関し、積算業務は第二次現地調査結果を待たずとも部分的に先行して着手できる範囲で作業を進めるような作業工程の工夫を検討願います。

以上